

## 京都〈ゆづゆの里〉入居者インタビュー 里から職場へ通勤 帰宅するのが、楽しみに

白水 勝棟（68歳）・佐奈江様（60歳）



今回は、入居して3年になる白水様夫妻をご紹介します。

「この春、仕事を退職したので、これから人生の第3ステージですよ。（笑）」と、おっしゃるご主人は、入居されてからも里から職場へ通勤されていました。

### 楽しめる間に入居したかった

「自宅もリフォームしたし、仕事は定年で辞めるつもりでした。ちょうどその頃ですね。妻が近所に住む一人暮らしのお年寄りを見て、玄関前の階段を昇るのも年々大変そうだなと感じ、不安になったそうです。将来、どちらか一人になった時、どうなるんだろう？って。それがきっかけで、資料集めから始め、入居について考え始めました。妻はまだ50代で共働き。二人とも、まだ現役で仕事を続けたい、

### 大浴場でのふれあいが楽しくて

入居されてから、ご主人は週4日、奥様も週2日、里から通勤の生活。「朝、十時出勤にしてもらい、里バスを利用して通っています。バスで顔見知りになり話すようになった方や、一坪農園や大浴場でも友達が出来ましたよ。」とご主人。「里では、親子ほど年齢が違って



楽器演奏室でピアノを弾くことが日課になっている（左は奥様）

も土壌は同じ。里で暮らすと、人と人との繋がりを感じます。生活の知恵を学べるし、勉強になることが多いですね。自宅での生活では、味わえなかつたことが今、とても新鮮です。私の一番のお気に入り、大浴場ですね。仕事で帰りが遅くなっても、大浴場に入る為にタクシーを飛ばして帰ってくることもあるほど。あの開放感がたまらなく好きなんです。」と

### 楽しそうなお主人。

### 晴行雨読 これからやりたいこと

「この春退職したので、挨拶状を書き始めました。住所が変わったと友人にいうと、賢い選択をしたねと羨ましがられています。本当は【晴耕雨読】だけど、私の場合、耕すじゃなくて【行】です。これからは部屋でじっとせず、外へ出て人と付き合う。まずは、ジムに行きたいですね。それに卓球もやりたい。雨の日は、家事を手伝うつもりでいますけどね。この環境を主体的に楽しみたいですね。」と、笑顔で話される白水様。



一坪農園で家庭菜園を楽しまれる

いつまでもお元気で、里での生活を満喫していただきたいと願っております。